

市民・事業者・子ども(児童・生徒)ニーズ(アンケート)調査結果まとめ

1. 目的

「白井市第3次環境基本計画」の策定を行うにあたり、検討の基礎資料とするため、市民・事業者・子ども(児童・生徒)等の環境配慮への意識や市の施策におけるニーズ等を把握するものである。

2. 実施概要

表 市民・事業者・子ども(児童・生徒)ニーズ(アンケート)実施概要

	市民		事業者	子ども(児童・生徒)
対象	郵送 ・市内の満18歳以上の市民に対して住民台帳から無作為抽出	Web ・Webアンケート会社登録モニターから白井市民を無作為抽出	・(一社)白井工業団地協議会会員 227 事業者 ・商工会会員 524 事業者	・市内の小学4年生 677 人 ・市内の中学2年生 739 人
調査項目	・設問1～8 回答者の属性 ・設問9 環境保全行動の実践状況 ・設問10 省エネ・再エネ設備の利用状況 ・設問11、12 市の取組への満足度・重要度 ・設問13 望ましい環境像 ・設問14 将来残したい場所 ・設問15～17 環境に関する情報の認知度 ・設問18 市に望む環境施策 ・設問19 環境に関する意見		・設問1～4 事業所の属性 ・設問5 環境保全行動の実践状況 ・設問6 省エネ・再エネ設備の利用状況 ・設問7、8 市の取組への満足度・重要度 ・設問9、10 環境問題への考え方 ・設問11 環境に配慮した事業活動の実施状況 ・設問12 市に望む環境施策 ・設問13 環境に関する意見	・設問1 市の取組への満足度・重要度 ・設問2 環境保全行動の実践状況 ・設問3 望ましい環境像 ・設問4 将来残したい場所 ・設問5、6 環境に関する情報の認知度
回収率	53.8% (1,076人/2,000人)	19.6% (110人/562人)	33.6% (252事業所/751事業所)	75.5% (1069人/1416人) (11校/14校) ※3校は新型コロナウイルスの影響等により未実施
実施時期	令和2年2月14日～3月10日	令和2年2月17日～2月19日	令和2年2月14日～3月10日	令和2年2月14日～3月10日
発送回収方法	調査票の郵送回収	Web ページでの回収	調査票の郵送回収	各学校へ配布・回収
送付資料	・依頼文 ・調査票 ※リマインダ葉書を送付	—	・依頼文 ・調査票	・依頼文 ・調査票

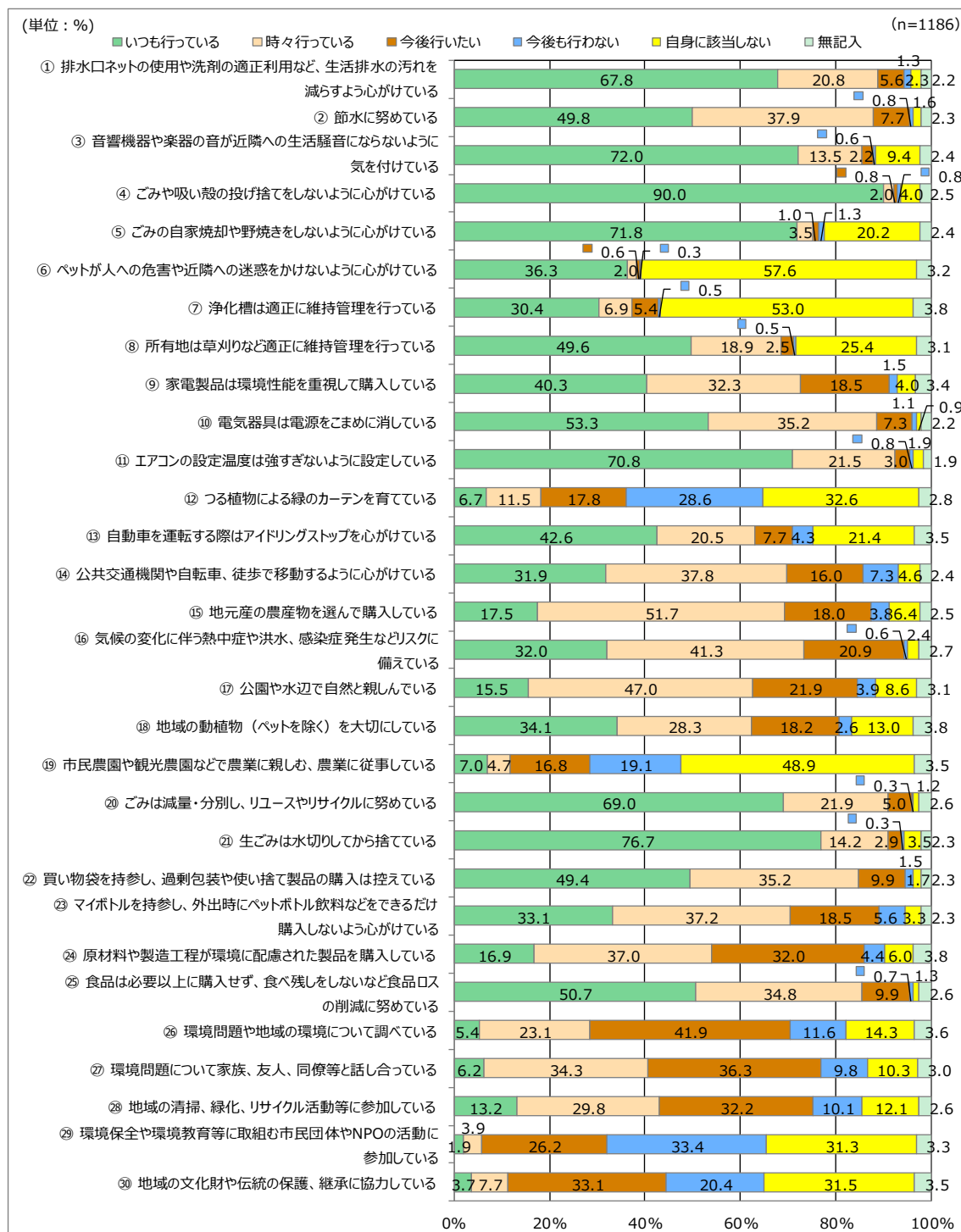
3. 調査結果の概要

1) 市民

■環境の保全に関わる行動の実践状況

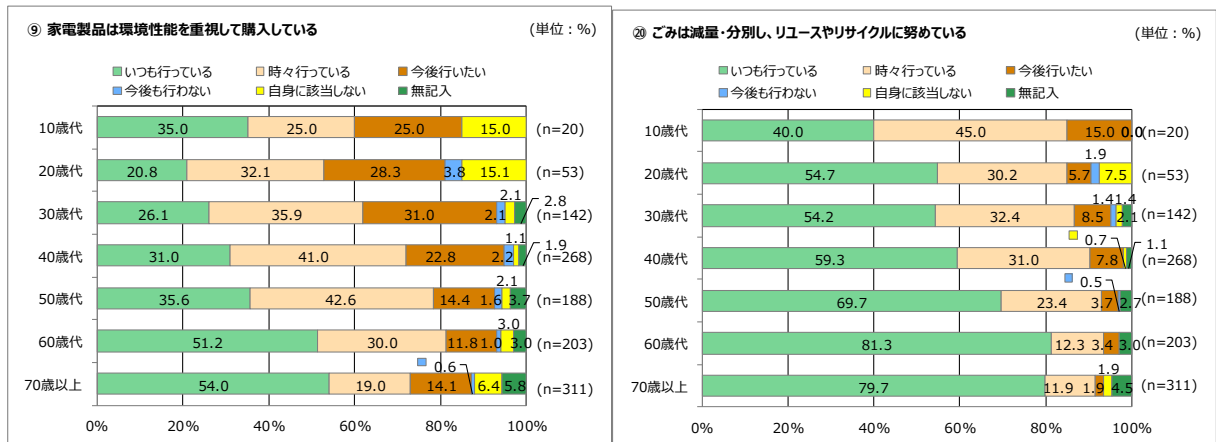
●単純集計

- ・「⑪エアコンの設定温度は強すぎないように設定している」の実施率（いつも行っていると時々行っているの合計の値）が92.3%と最も高く、次いで「④ごみや吸い殻の投げ捨てをしないように心がけている」の実施率が92.0%と高い。
- ・「⑲環境保全や環境教育等に取り組む市民団体やNPO活動の団体に参加している」が5.8%と最も低い。
- ・全体的に公害対策、ごみ対策の項目の実施率は高い傾向にある。



●クロス集計（一部抜粋）

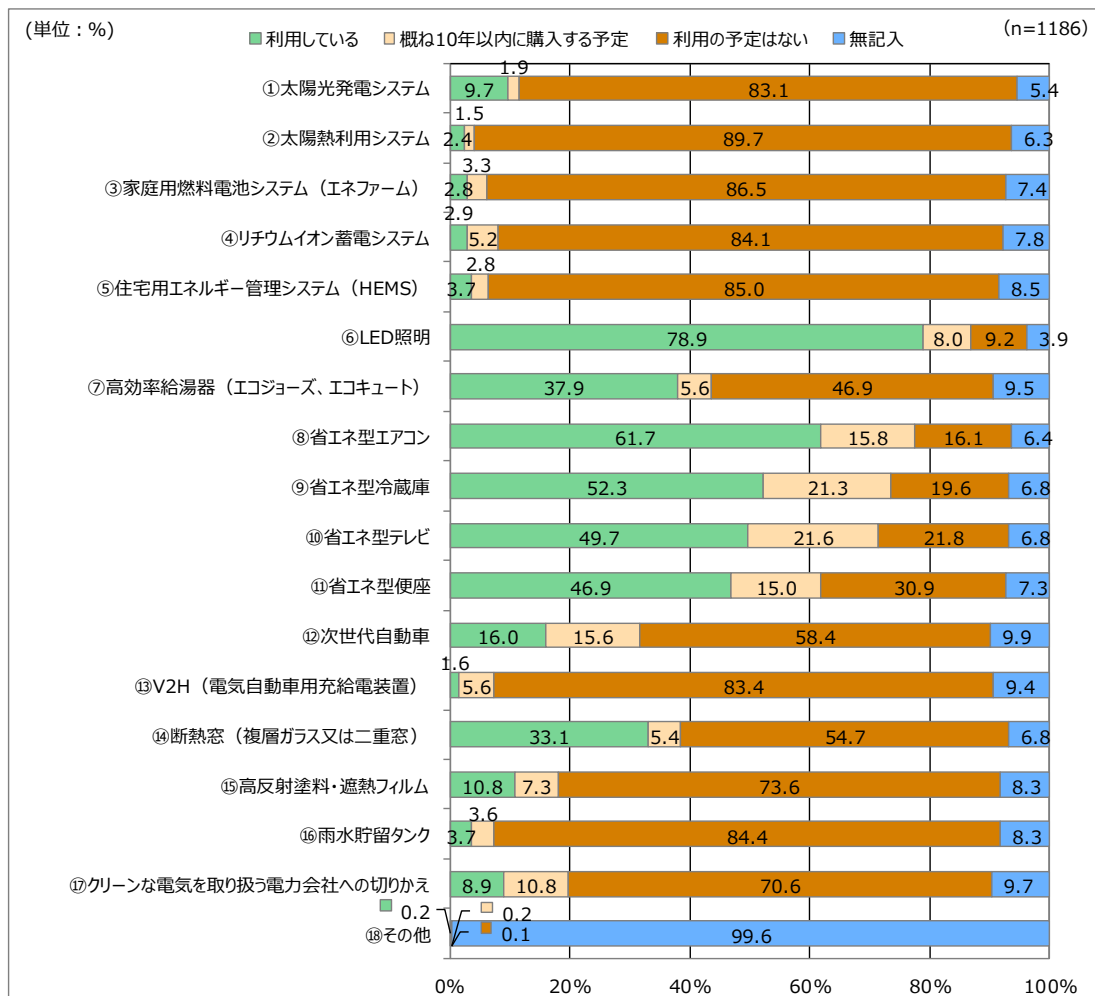
- ・「⑨家電製品は環境性能を重視して購入している」、「⑳ごみは減量・分別し、リユースやリサイクルに努めている」など年齢が高くなると実施率が上がる傾向にある。



■省エネ・再エネ設備の利用状況と導入していない理由

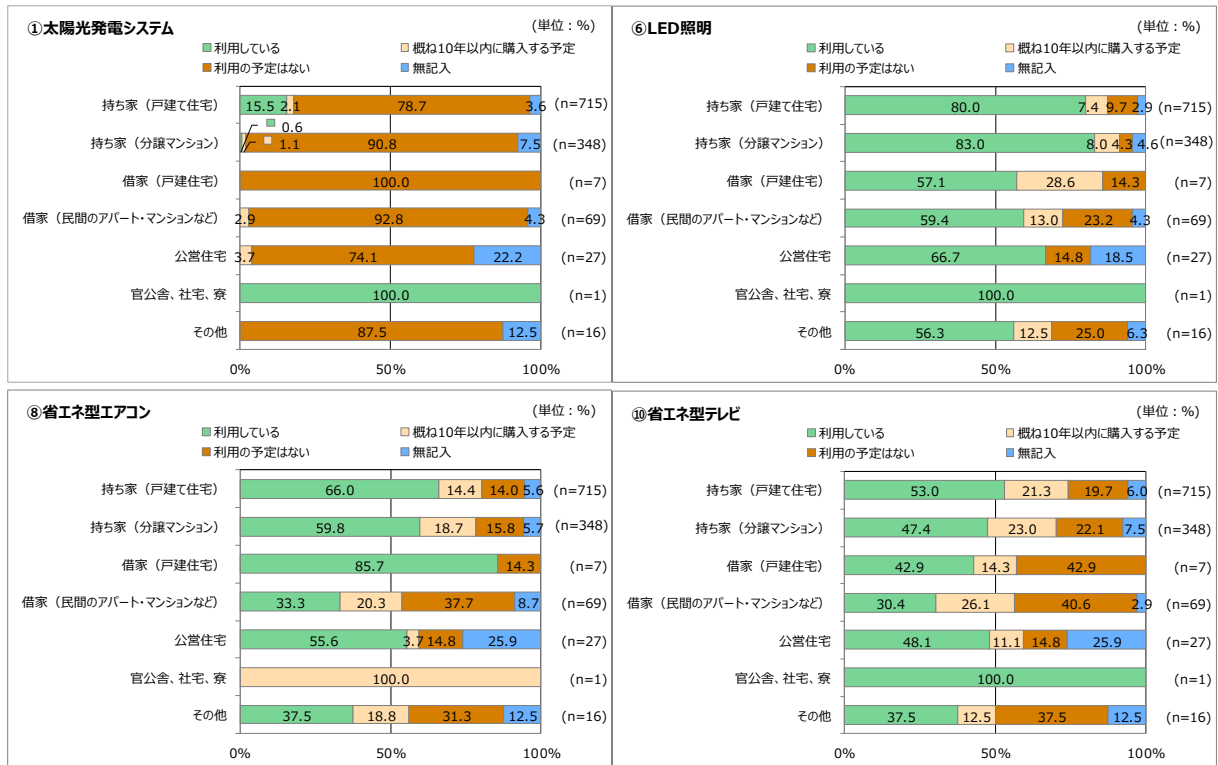
●単純集計

- ・LED照明及び省エネ型エアコン等の省エネ型家電は一定数が導入済み。
- ・導入していない理由では集合住宅であることが最大の理由。



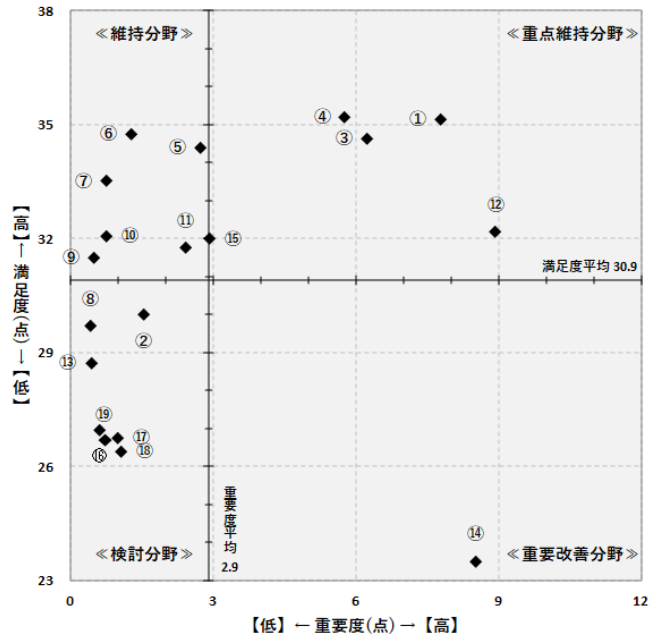
●クロス集計（一部抜粋）

- ・「①太陽光発電システム」は、持ち家の戸建住宅では16%と一定程度導入が進んでいる。
- ・借家（アパート・マンション）はLED照明や省エネ型家電の導入率が低い傾向にある。



■環境の取組に対する満足度及び重要度

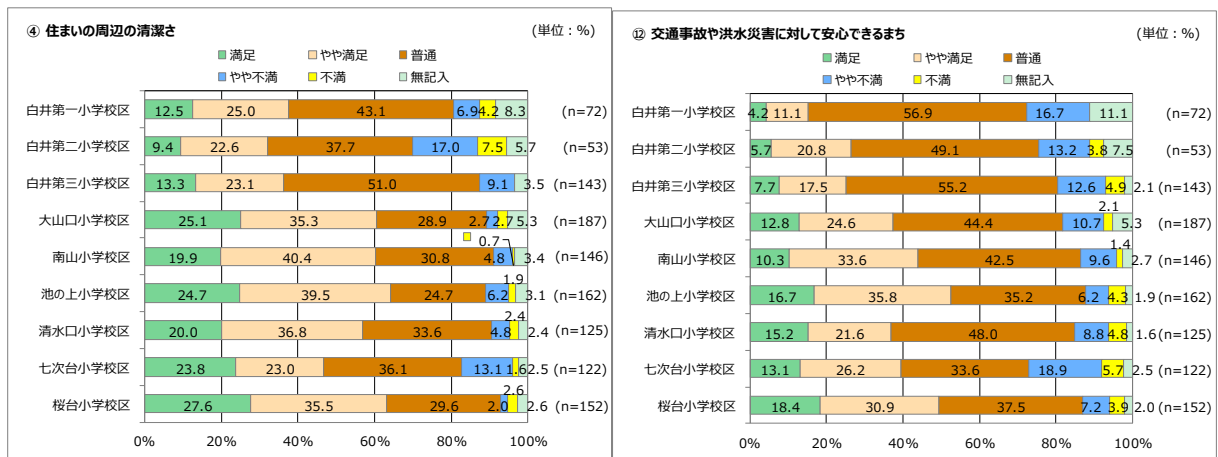
- ・満足度・重要度ともに高い項目
(図中の右上のエリア)
→ 大気、住宅周辺の生活環境、安全対策関係の取組
- ・満足度は高いが重要度は低い項目
(図中の左上のエリア)
→ 廃棄物、緑・生きもの、農業関係の取組
- ・満足度は低いが重要度は高い項目
(図中の右下のエリア)
→ 交通の利便性関係の取組
- ・満足度・重要度ともに低い取組
(図中の左下のエリア)
→ 水質、低炭素、環境活動関連の取組



No.	項目	満足度	重要度
①	大気のおきれいさ（大気汚染や悪臭の少なさ）	35.14	7.80
②	河川や水路の水の清らかさ	30.00	1.55
③	住まいの周辺の静けさ（騒音や振動の少なさ）	34.63	6.23
④	住まいの周辺の清潔さ	35.20	5.77
⑤	市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展	34.39	2.73
⑥	樹林地や緑地との親しみやすさ	34.75	1.28
⑦	生きもの（野鳥、動植物、昆虫等）との親しみやすさ	33.52	0.78
⑧	河川・湧水等の水辺との親しみやすさ	29.70	0.43
⑨	農業や園芸との親しみやすさ	31.51	0.51
⑩	田園風景の美しさ	32.07	0.77
⑪	街並みの美しさ	31.77	2.42
⑫	交通事故や洪水災害に対して安心できるまち	32.18	8.94
⑬	歴史的・文化的雰囲気	28.73	0.45
⑭	自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ	23.51	8.52
⑮	公園や遊歩道の多さ	31.20	2.93
⑯	市民・事業者における省エネ行動の定着	27.07	0.84
⑰	建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及	26.75	1.01
⑱	市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ	26.39	1.08
⑲	市民・事業者による地域の環境保全活動への参加	26.96	0.62
	平均	30.86	2.88

●クロス集計

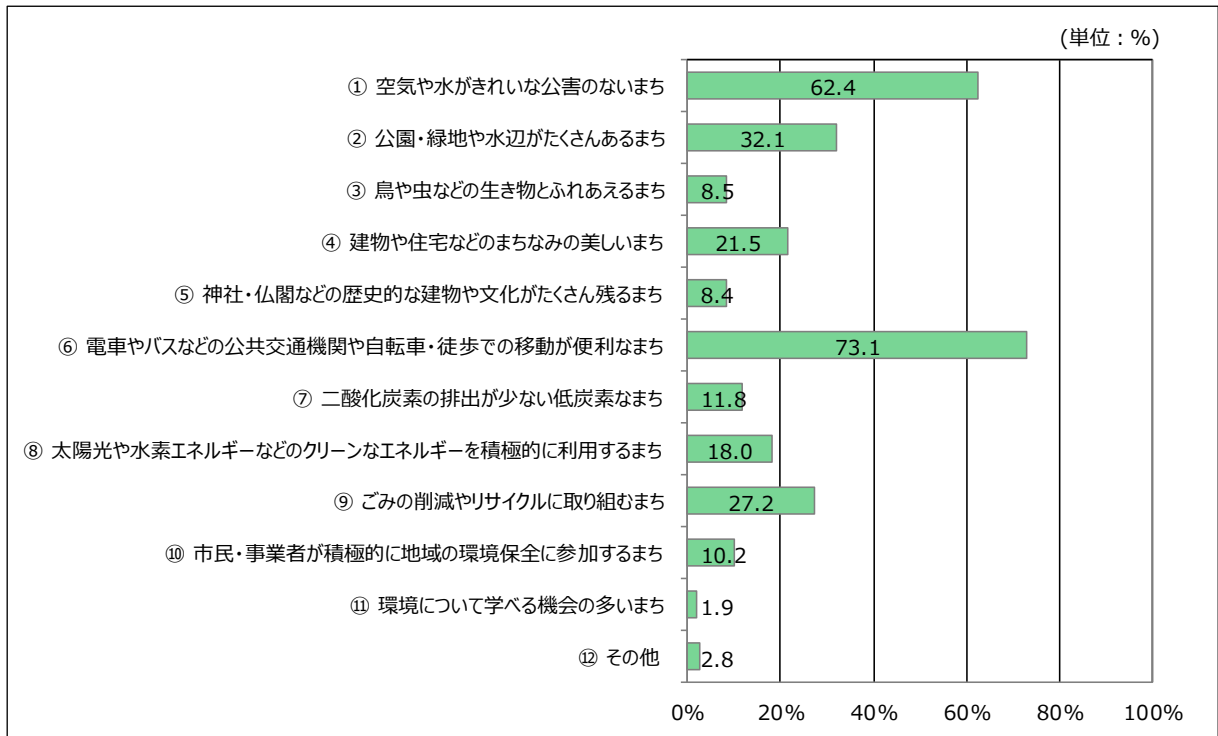
- ・満足度について、白井第二小学校区の「④空気のおきれいさ」、「④住まい周辺の清潔さ」を満足と回答している人の割合が少ない傾向にある。一方、池の上小学校区の「④空気のおきれいさ」を満足と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・満足度について、白井第一小学校区および七次台小学校区の「⑫交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」の不満の割合が高い傾向にある。一方、池の上小学校区、桜台小学校区は満足と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・重要度について、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」は大山口小学校区で重要と回答している人の割合が多い傾向にある。



■望ましい環境像

●単純集計

- ・「⑥電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち」が73.1%と最も高く、「①空気や水がきれいな公害のないまち」が62.4%と次いで高い。



●クロス集計

- ・20代、30代は「②公園・緑地や水辺がたくさんあるまち」の回答率が高い傾向にある。
- ・60代以上は「⑩市民・事業者が積極的に地域の環境保全に参加するまち」の回答率が高い傾向にある。
- ・白井第二小学校区で「⑤神社・仏閣などの歴史的な建物や文化がたくさん残るまち」、「⑨ごみの削減やリサイクルに取り組むまち」の回答が多い傾向にある。
- ・白井第一小学校区で「③鳥や虫などの生きものと触れ合えるまち」の回答が多い傾向にある。

■大切だと思うまたは将来に残したい場所

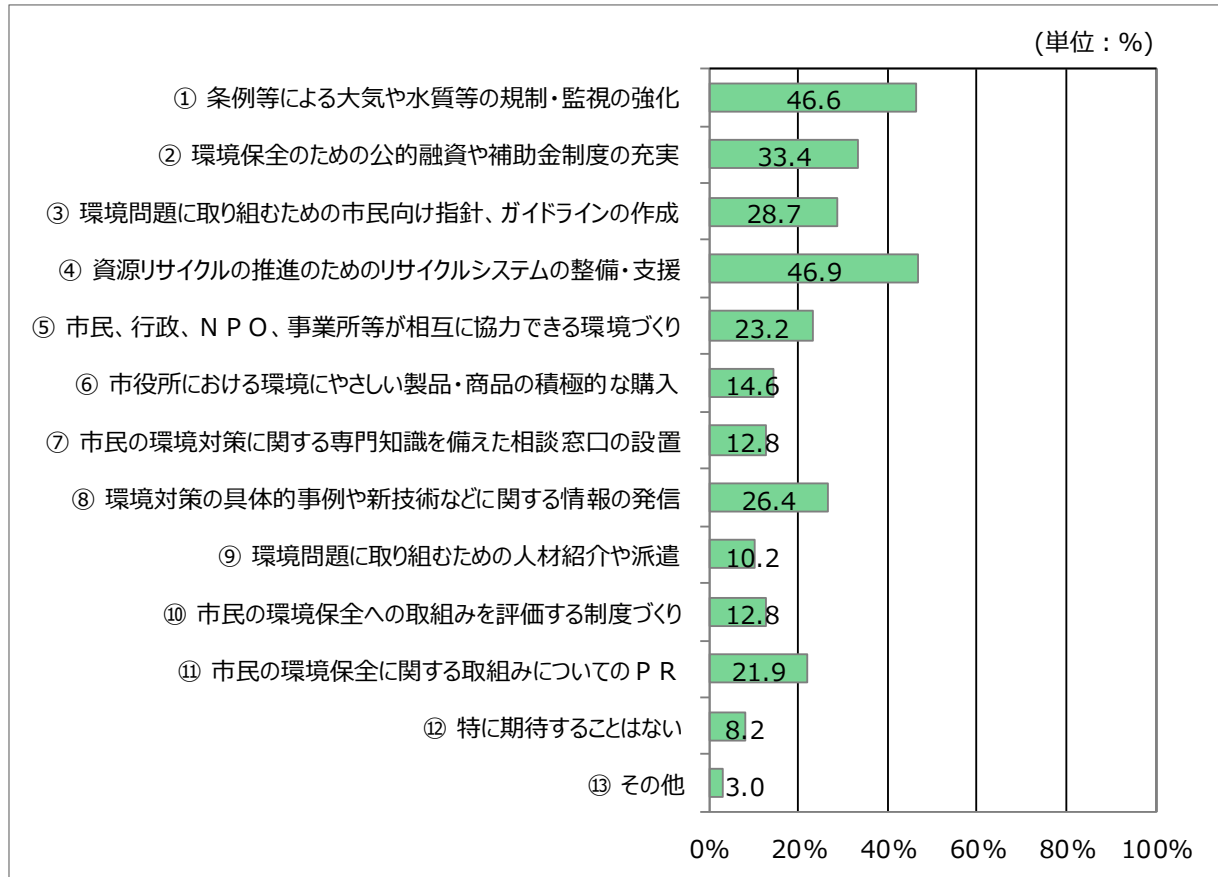
- ・大切と思う場所の回答で最も多かったのは「七次川調整池」の76件であった。理由は「オオハクチョウの観察ができるから」などオオハクチョウに関するものが多い。
- ・次いで、公園など市民が活用する機会の多い場所を残したいという回答が多かった。

■環境に関する情報の認知度

- ・環境都市宣言、環境基本計画、環境白書を読んだことがある人は数%と低い。
- ・「カミツキガメ」の認知度は71.0%と高いが、「ナガエツルノゲイトウ」は4.9%と低い。
- ・SDGsは半数以上が名前を聞いたことがあり、パリ協定は80%程度の人が名前を聞いたことがあり、認知度は高い。

■市に望む環境施策

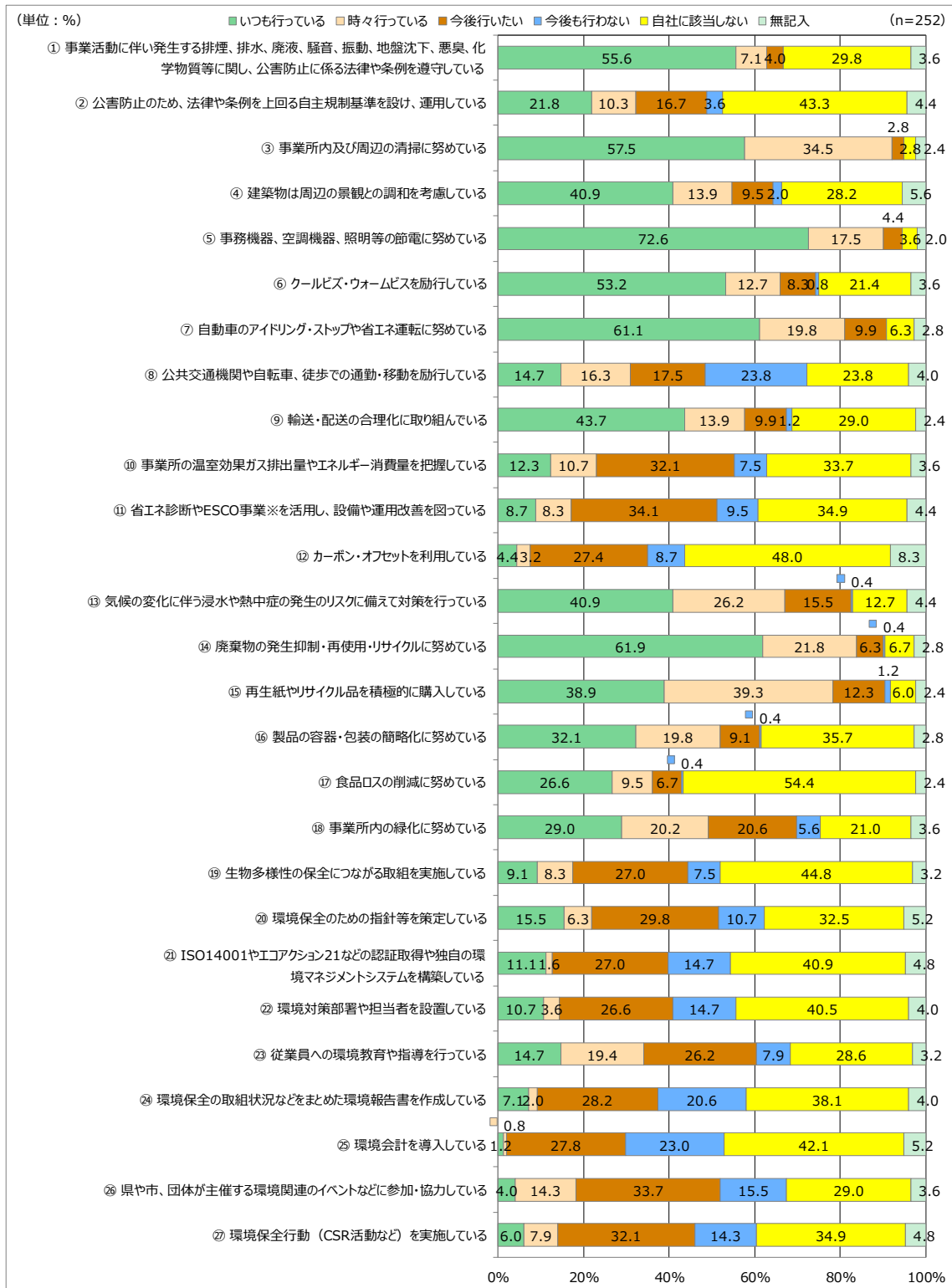
- ・「④資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援」が46.9%と最も多くの回答があり、「①条例等による大気や水質等の規制・監視の強化」が46.6%と望んでいる人が次いで多い。



2) 事業者

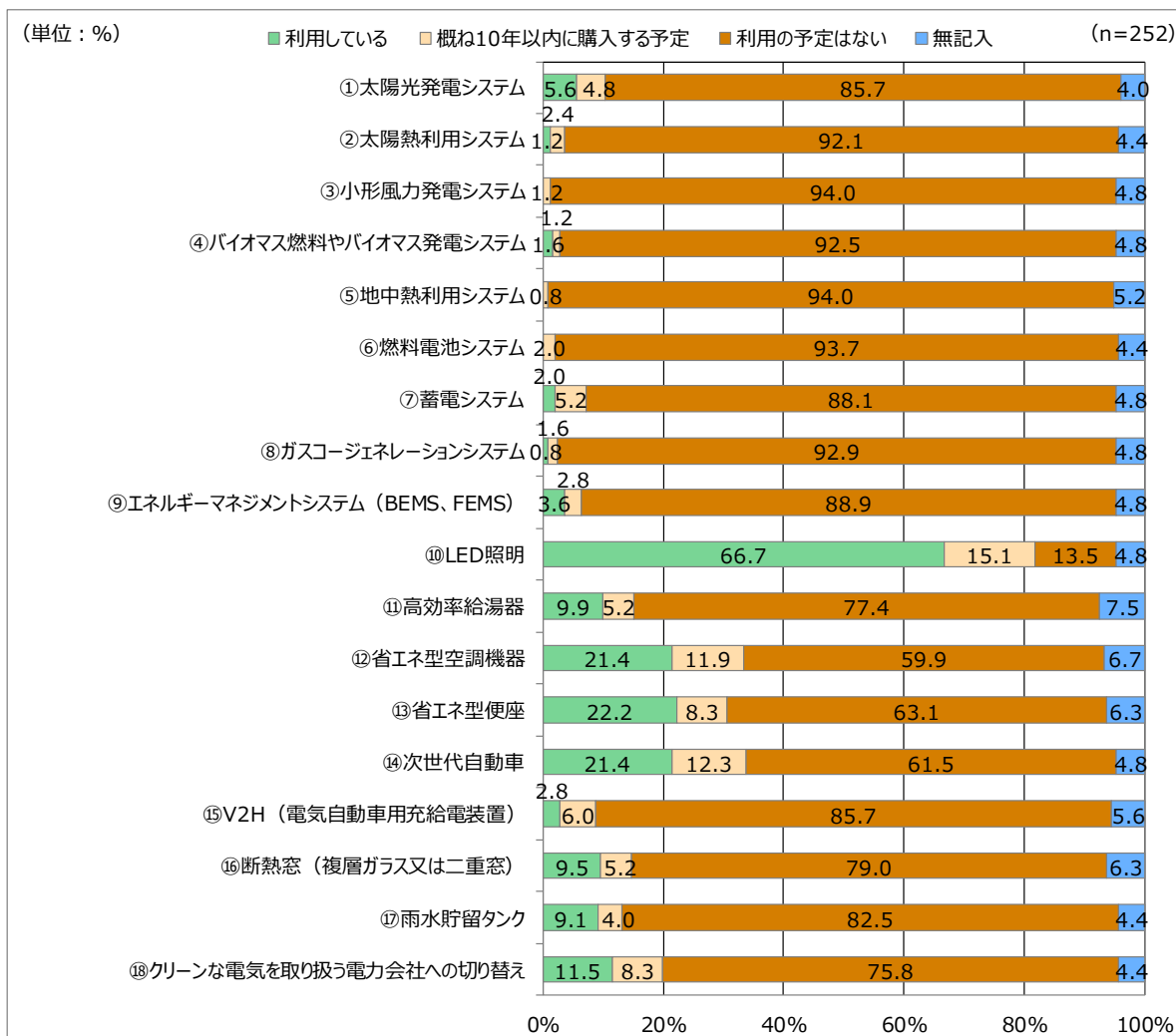
■環境の保全に関わる行動の実践状況

- ・全体的に公害対策、省エネ・温暖化対策、ごみ対策の実施率は高い。
- ・「⑫環境会計を導入している」の実施率は2.0%と最も低く、次いで「⑫カーボン・オフセットを利用している」が7.6%と低い。



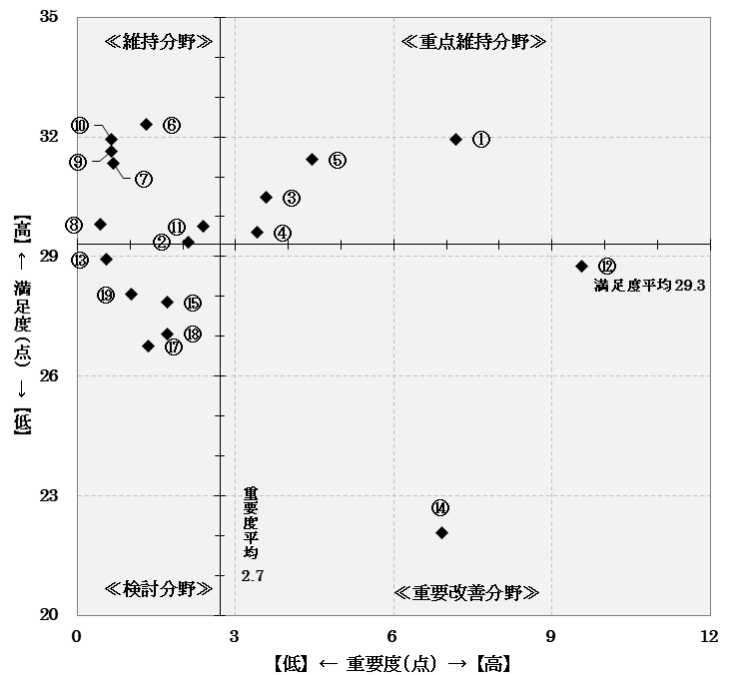
■省エネ・再エネ設備の利用状況と導入していない理由

- ・「⑩LED照明」は66.7%、「⑬省エネ型便座」が22.2%、「⑫省エネ型空調機器」および「⑭次世代自動車」の導入が21.4%と高くなっている。
- ・導入していない理由では「費用が高いから」、「テナントだから」と回答した事業者が多い。



■環境の取組に対する満足度及び重要度

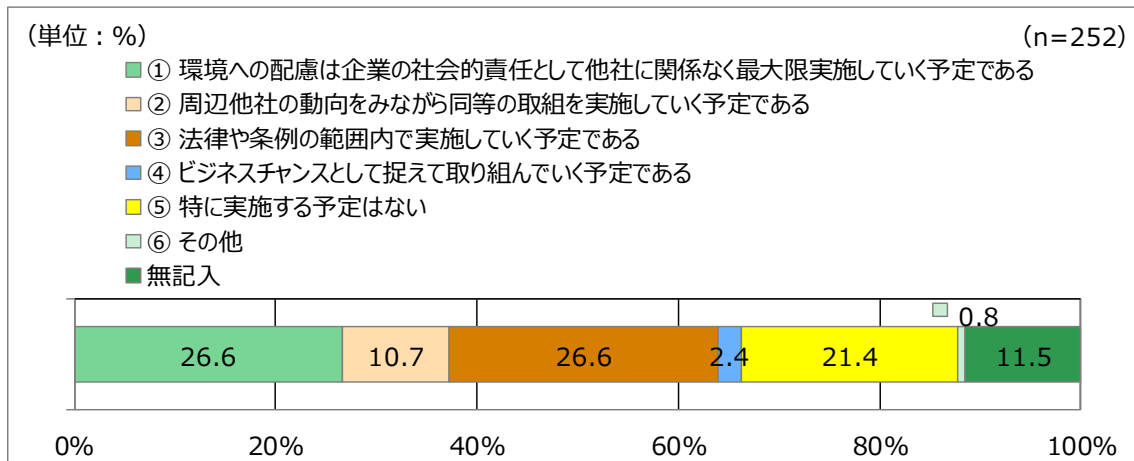
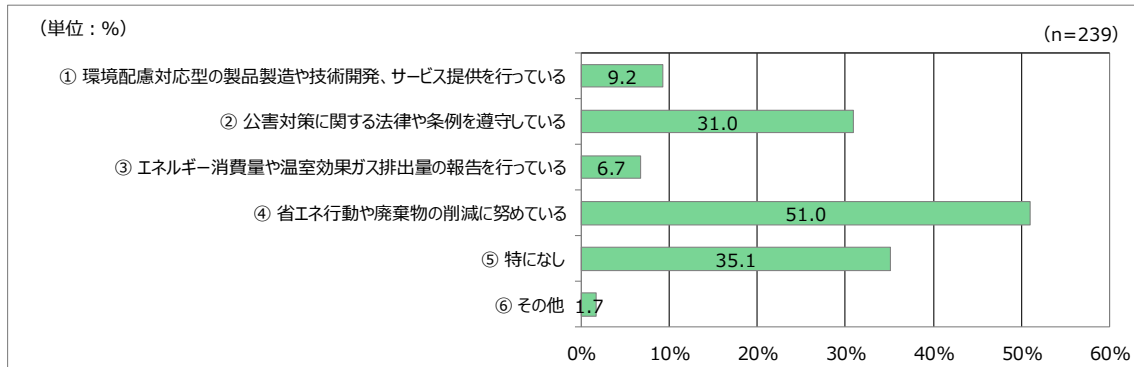
- ・満足度・重要度ともに高い項目
(図中の右上のエリア)
- 大気、事業所周辺の環境、廃棄物、関係の取組
- ・満足度は高いが重要度は低い項目
(図中の左上のエリア)
- 緑・生きもの、農業関係の取組
- ・満足度は低いが重要度は高い項目
(図中の右下のエリア)
- 安全、交通の利便性関係の取組
- ・満足度・重要度ともに低い取組
(図中の左下のエリア)
- 低炭素、景観、環境活動関連の取組



No.	項目	満足度	重要度
①	大気環境改善 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ)	31.94	7.18
②	河川や水路の水の清らかさ	29.37	2.10
③	事業所の周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ)	30.48	3.57
④	事業所の周辺の清潔さ	29.60	3.41
⑤	市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展	31.43	4.44
⑥	樹林地や緑地との親しみやすさ	32.31	1.31
⑦	生きもの (野鳥、動植物、昆虫等) との親しみやすさ	31.35	0.68
⑧	河川・湧水等の水辺との親しみやすさ	29.80	0.44
⑨	農業や園芸との親しみやすさ	31.63	0.64
⑩	田園風景の美しさ	31.94	0.64
⑪	街並みの美しさ	29.76	2.38
⑫	交通事故や洪水災害に対して安心できるまち	28.77	9.56
⑬	歴史的・文化的雰囲気	28.93	0.56
⑭	自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ	22.06	6.91
⑮	公園や遊歩道の多さ	27.86	1.71
⑯	市民・事業者における省エネ行動の定着	27.14	1.35
⑰	建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及	26.75	1.35
⑱	市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ	27.06	1.71
⑲	市民・事業者による地域の環境保全活動への参加	28.06	1.03
	平均	29.28	2.68

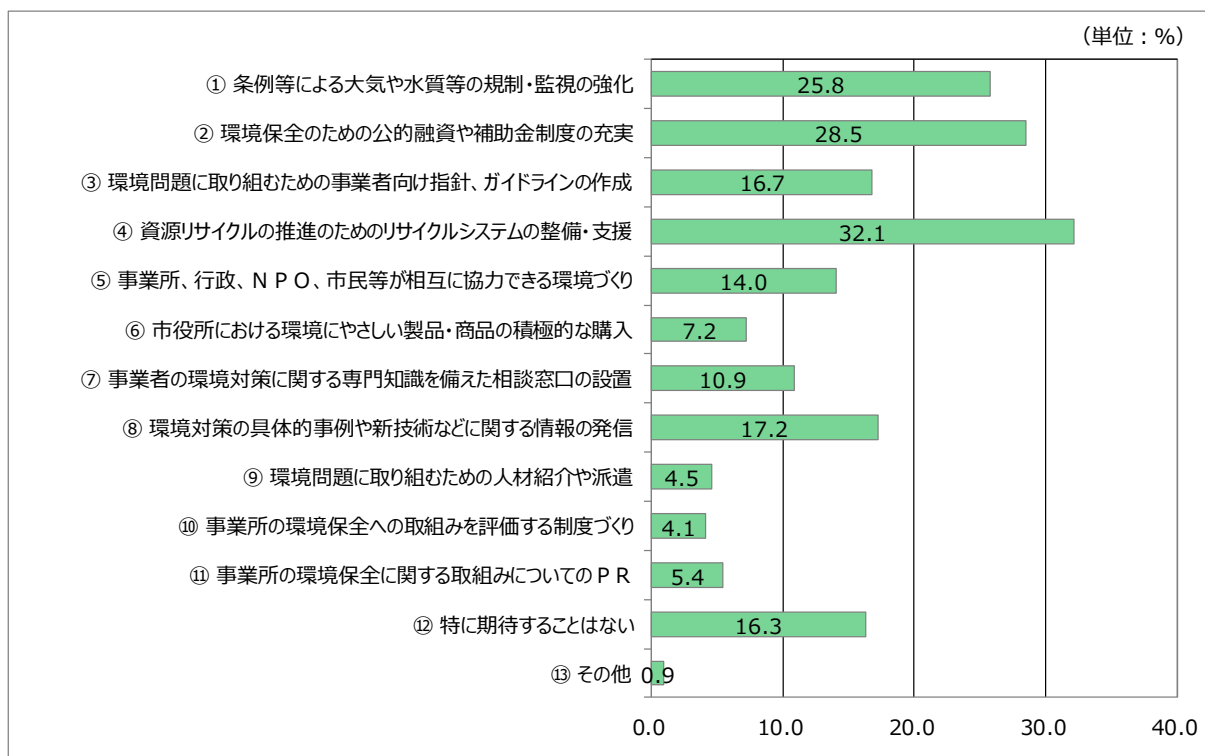
■環境問題に対する考え

- ・「④省エネ行動や廃棄物の削減に努めている」が 51.0%と高く、「③エネルギー消費量や温室効果ガスの排出量の報告を行っている」が 6.7%と低い。
- ・法律等の範囲で順守するや企業の社会的責任として環境問題に取り組むといった回答が 26.6%と多く、ビジネスチャンスとして取り組むと回答した事業者は 2.4%と少ない。
- ・独自取組として、堆肥や肥料の高品質化やバイオマス発電の原料を公共剪定枝等にする取組がある。



■市に望む環境施策

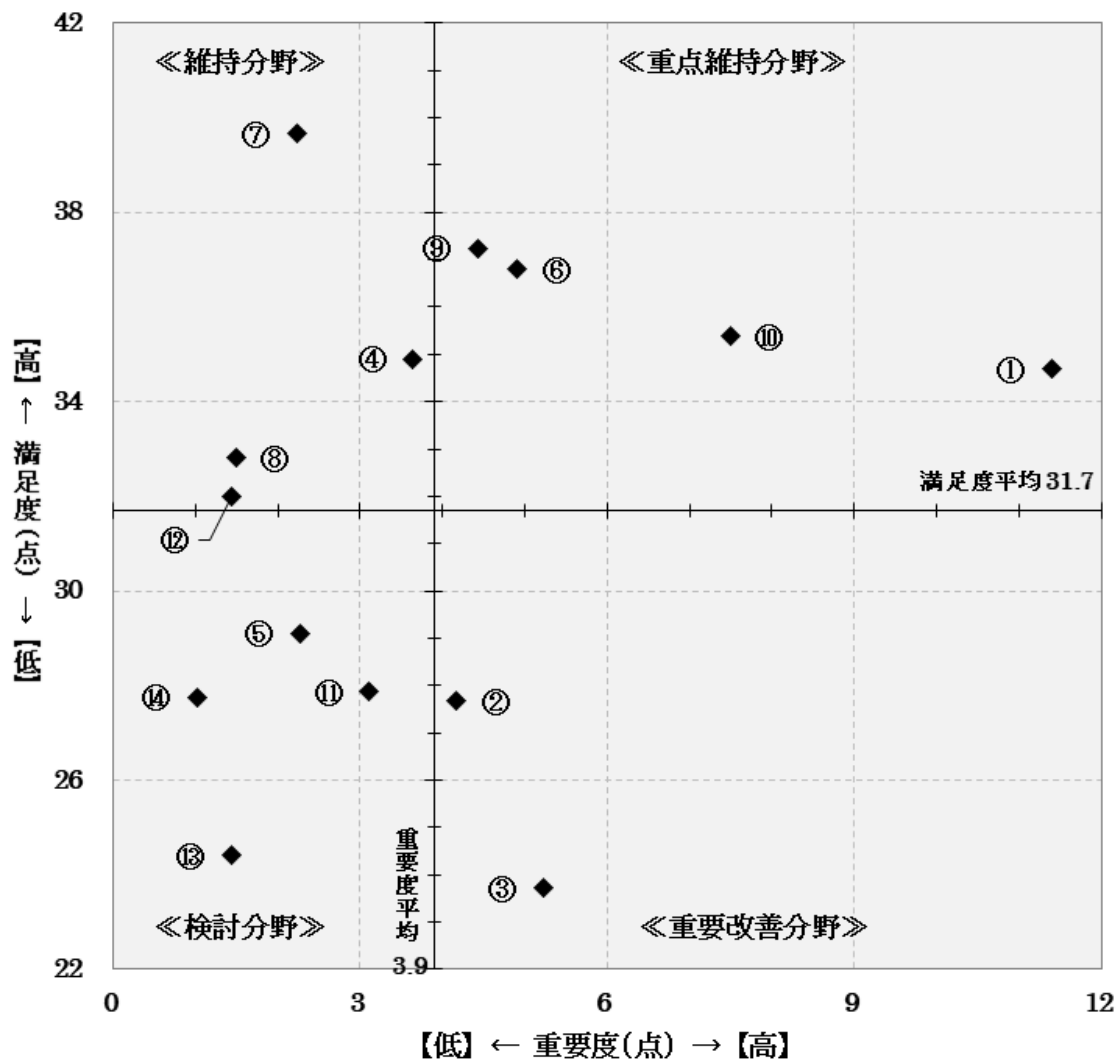
- ・「④資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援」が32.1%と最も多く、次いで「②環境保全のための公的融資や補助金制度の充実」を望む事業者が28.5%と多い。



3) 子ども（児童・生徒）

■環境の保全に関わる行動の実践状況

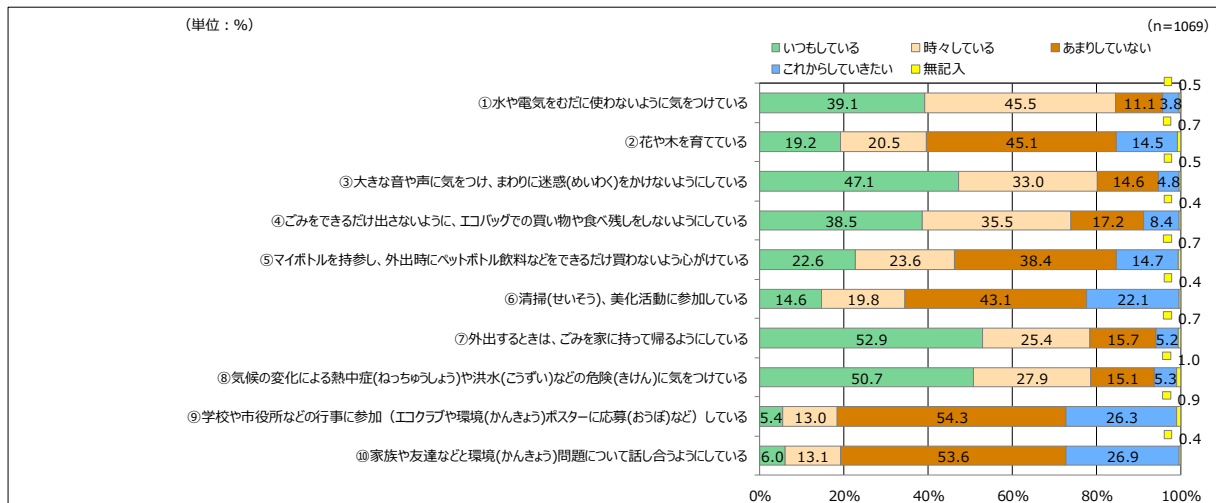
- ・満足度・重要度ともに高い項目（図中の右上のエリア）
 - 緑、道路整備関係の取組
- ・満足度は高いが重要度は低い項目（図中の左上のエリア）
 - 景観、低炭素関係の取組
- ・満足度は低いが重要度は高い項目（図中の右下のエリア）
 - 水質、静かさ関係の取組
- ・満足度・重要度ともに低い取組（図中の左下のエリア）
 - 生きもの、環境活動関連の取組



No.	項目	満足度	重要度
①	空気がきれいで、さわやかだ。いやなおいがない。	34.69	11.40
②	川や水辺がきれい	27.68	4.16
③	まわりが静かだと感じる（車やバイク、お店や工場の音がうるさくない）	23.72	5.22
④	夜、星がたくさん見える	34.91	3.64
⑤	野生の生きものを見かけることがよくある	29.11	2.26
⑥	自然のままの緑が多く残されていると感じる	36.79	4.90
⑦	まちなかに植木や緑が多いと感じる	39.67	2.23
⑧	街なみや田んぼなどの風景がきれいだと感じる	32.82	1.49
⑨	歩道、自転車道を安心して歩ける自転車に乗ることができる	37.24	4.43
⑩	ごみのポイ捨てをよく見かける	35.39	7.49
⑪	ひとり一人の節電意識が高い	27.88	3.12
⑫	建物などにおける、太陽光発電などの積極的な利用が進んでいる	32.01	1.44
⑬	まちの環境活動に参加する機会がある	24.41	1.43
⑭	まちの環境について勉強する機会がある	27.76	1.03
	平均	31.72	3.87

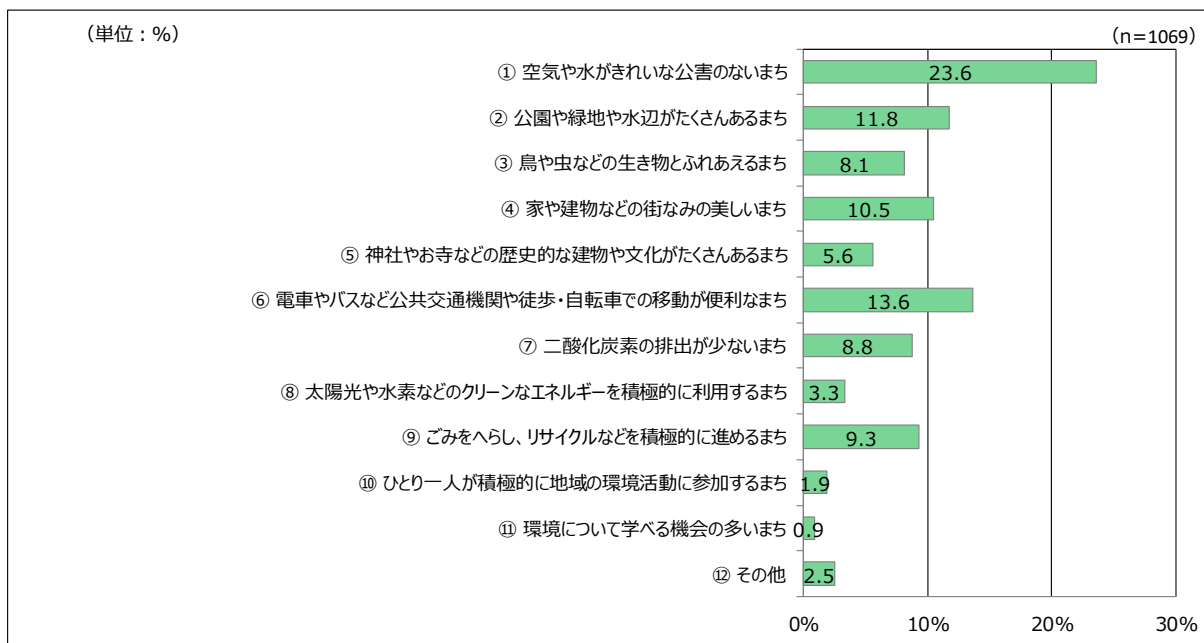
■環境の保全に関わる行動の実践状況

- ・「①水や電気をむだに使わないように気をつけている」の実施率は84.6%と最も高く、次いで「③大きな音や声に気をつけ、まわりに迷惑をかけないようにしている」が80.1%と高い。
- ・「⑨学校や市役所などの行事に参加している」が18.4%と最も低く、次いで「⑩家族や友達などと環境問題について話し合うようにしている」19.1%と低い。



■望ましい環境像

- ・「①空気や水がきれいな公害のないまち」が 23.6%と最も高く、次いで、「⑥電車やバスなど公共交通機関や徒歩・自転車での移動が便利なまち」が 13.6%と高い。



■大切だと思うまたは将来に残したい場所

- ・大切と思う場所の回答で最も多かったのは「七次川調整池」で、「オオハクチョウの観察ができるから」などオオハクチョウに関する理由が残したい理由として多い。
- ・次いで、活用する機会の多い公園を残したい場所をとした回答が多い。

■環境に関する情報の認知度

- ・「カミツキガメ」、「オオキンケイギク」、「ナガエツルノゲイトウ」を市内で見たことがあるのは 10%前後であった。また、「カミツキガメ」の認知度が 86.0%と高い。
- ・SDGs のロゴマークは「初めて見た」が 60.6%と最も多く、「意味を知っている」が 5.4%と最も少ない。